

日 時 平成29年11月21日（火）

9：50～10：35

1 題材名

目標達成にむけてがんばろう！

2 題材について

本学級には3名が在籍している。A児は教師の声かけや援助を受けながら活動することができる。学習中に落ち着いてできる課題が増えてきたが、周囲の様子が気になり、活動に集中して取り組み続けることが難しい。B児は学校生活の流れを理解し一人で活動できることが多い。新しい課題や予定の変更を受け入れることが難しいことがあるが、学習への関心は高く、集団学習、個別学習に意欲的に取り組もうとする姿が見られる。C児は教師の声かけを受けてスケジュールを確認しながら活動することができる。自信がなかったり周囲の様子が気になったりして活動に集中することが難しいことがあるが、自信を持っている学習に意欲的に取り組むことができる。3名とも友だちや教師と関わることや学習に取り組むことが好きである反面、友だちや教師との距離感が近いことや学習中の言葉遣いが適切でないなどの生活年齢に応じた人との関わり方や、周囲の様子が気になり学習に集中しづらいことや課題のやり方や順番に固執しがちなことなどの学習への取り組み方に課題がある。また、学習した話し方や行動の仕方を生活の中で活用しにくいなど学習したことを生活につなげて活かすことが難しい。

こうした実態を踏まえ、本題材では、目標をもって学習に取り組む力や学習を実際の生活で活かす力を育成したいと考えた。集団学習で友だちや教師と関わることができたり、個別学習で繰り返し学習に取り組んだりすることのできる本題材は、児童にとって友だちや教師を意識して活動したり、学習内容の定着を図ったりしやすい学習であると考えた。また、学習内容として買い物や文字、時計などを実態に応じて設定することで、実際の生活につなげる機会を設けて、生活に活かすことができると考える。その中で児童自身が目標をもって学習に取り組むことで、目標に向かって頑張ったことを自分だけではなく友だちや教師からも認められ、達成感を感じながら新しい学習にも進んで取り組む意欲を高めることができると考える。

指導にあたっては、児童がまなびタイムの時間の目標と個々の課題の目標を持って学習に取り組むことができるように、全体を通して「何のために」「何を」「なぜ」学んでいるのか明確にし、子どもに分かる方法で伝え、評価することを意識していきたい。まなびタイムの時間の目標についてはめあてとして毎日確認したい。そしてめあてや個々の課題で頑張っていること、生活の中で学習を活かしている姿を児童同士で共有して、目標にむかって頑張ったことを認められることで個々の学習意欲をさらに高めていきたい。

まず、ねらいを明確にするために、それぞれの児童の実態から将来必要となってくる力の中でまなびタイムの時間を通してねらえることを目標として取り上げ、「何のために」「なぜ」学ぶのかを言葉やイラスト等で伝えるようにする。このとき近い将来の自分の好ましい姿（なりたい姿）を想像できるような声かけをしていきたい。次に、主体的に学習に取り組むための指導支援として、めあてを継続的に意識して学習に取り組むことができるようにめあての達成状況を花丸の数などで視覚的に確認できる表を用意したり、めあてを達成すると「〇〇けん」というそれぞれの児童にとって楽しみなことができる券がもらえるシステムを作ったりする。個々の課題の目標は、達成するごとに児童同士で共有したり生活の中で活かす場面を作ったりして認めていくことで学習意欲を高めたい。最後に、評価の仕方の工夫として学習に対する評価を「まなびタイムがんばったねシート」に記入し家に持ち帰ることができるようにしたり、めあてに対する評価を動画や写真を使ってみんなで振り返ったりできるようにする。「まなびタイムがんばったねシート」はめあてや課題の達成状況やその時間の様子を記入することで、家に持ち帰った時に保護者からも称賛されるようにしたい。動画や写真を使っためあてに対する評価は、自分の頑張りに自分で気付いたり、友だちや教師から称賛されたりするように声かけや支援をしていきたい。

3 題材目標

- ・課題となっている個別の知識や技能を身につけることができる。【知識・技能】
- ・課題が終わったときの報告や困ったときの依頼を自分なりの方法で行ったりスケジュールを確認して課題に取り組んだりすることができる。【思考・判断・表現】
- ・自分のめあての達成に向けて、自分から学習に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

《自立活動》○自分のめあてを意識して学習に取り組むことができる。【心-3、人-3】

○決められた課題を一人でまたは教師と一緒に時間いっぱい最後まで取り組むことができる。【心-3】

《国語》○平仮名の拗音を読み書きすることができる。(B児)

○「さいしょに」「つぎに」「さいごに」を使って簡単な文章を書くことができる。(C児)

《算数》○時計を5分単位で読むことができる。(B児)

○千円札・百円玉・十円玉・一円玉を使って指定された三千円未満の金額を出すことができる。(C児)

4 題材指導計画

《自立活動》

A児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
自分のめあてを意識して学習に取り組むこと	課題を進めるごとに花丸を貼ったり花丸を貯めて楽しい活動をしたりしながら、教師と一緒に課題を3つ進めることができる。(6.7時間)				課題を進めるごとに貰える花丸やめあて達成後の教師との活動を楽しみにしながら、教師の支援を受けて課題を3つ進めることができる。(本時 5.5 / 7.5時間)					教師の声かけを受けて課題を4つ進めることができる。(4.8時間)			
決められた課題を一人でまたは教師と一緒に取り組むこと	視覚的な支援を手がかりに、順番に課題をやり遂げることができる。(6.7時間)				自分で課題の順番を決め、最後まで課題をやり遂げることができる。(本時 5.5 / 1.2.3時間)								

B児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自分のめあてを意識して学習に取り組むこと	めあてを達成すると楽しい活動ができることが分かり、教師の声かけを受けて適切な距離感で支援を依頼することができる。(6.7時間)				困ったときや課題の直しがあるときに教師に適切な距離感で支援を依頼することができる。(本時 5.5 / 1.2.3時間)							
決められた課題を一人でまたは教師と一緒に取り組むこと	最後まで課題を進めていくことができる。(6.7時間)				スケジュールを見て、決められた量の課題を取ってきて、最後まで課題を進めていくことができる。(本時 5.5 / 1.2.3時間)							

C児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自分のめあてを意識して学習に取り組むこと	めあてを達成すると楽しい活動ができることが分かり、教師の支援を受けて課題に必要なものを自分で準備して課題に取り組むことができる。(6.7時間)				課題に必要なものを自分で準備して、課題に取り組むことができる。(本時 5.5 / 1.2.3時間)							
決められた課題を一人でまたは教師と一緒に取り組むこと	最後まで課題を進めていくことができる。(6.7時間)				スケジュールを見て、決められた量の課題を取ってきて、最後まで課題を進めていくことができる。(本時 5.5 / 1.2.3時間)							

《国語》

B児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平仮名の拗音を読み書きすること	単語の中の拗音を読んだり、見本を見ながら単語の中の拗音を正しい位置に書いたりすることができる。(67時間)				拗音を読んだり、単語の中の拗音を正しく書いたりすることができる。(本時 55/75時間)					正しく拗音を読み書きすることができる。(48時間)		

C児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
簡単な文章を書くこと	教師と一緒に写真等を見ながら物事の順番を整理し、「さいしょに」「つぎに」「さいごに」を使って簡単な文章を書くことができる。(67時間)				写真やイラストを見ながらその場面の状況を読み取ることができる。(本時 55/75時間)					写真等を見ながら物事の順番を整理し、「さいしょに」「つぎに」「さいごに」を使って簡単な文章を書くことができる。(48時間)		

《算数》

B児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時計を5分単位で読むこと	視覚的支援のある時計を15分単位で読むことができる。(67時間)				指定された15分おきの時間に時計を合わせることができる。(本時 55/75時間)					時計を5分単位で読むことができる。(48時間)		

C児

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
三千円未満の金額を出すこと	支援グッズを使いながら千円札・百円玉・十円玉・一円玉を使って指定された二千円以内の金額を出すことができる。(67時間)				支援グッズを使いながら千円札・百円玉・十円玉・一円玉を使って指定された三千円未満の金額を出すことができる。(本時 55/75時間)					千円札・百円玉・一円玉を使って指定された三千円未満の金額を出すことができる。(48時間)		

5 5つの力との関連

5はたらく / (1) はたらく意欲・態度 / ④積極性

6 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・課題となっている個別の知識や技能を高めることができる。【知識・技能】
- ・課題が終わったときの報告や困ったときの依頼を自分なりの方法で行ったりスケジュールを確認して課題に取り組んだりすることができる。【思考・判断・表現】
- ・めあて達成シートを確認し、自分のめあてになっていることや決められた課題に一人で、または教師と一緒に取り組むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

児童生徒	本時の目標	個別の指導計画目標
児童A	<p>○教師の支援を受けながら課題を3つやり遂げることができる。【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○教師と一緒に具体物を指しながら2までの数を数えることができる。【知識・技能】</p>	<p>・2までの具体物の数を数えることができる。</p>
児童B	<p>○買い物の学習や困ったときに友だちや教師に適切な距離感で支援を依頼することができる。【思考・判断・表現】</p> <p>○指定された15分おきの時間に時計を合わせることができる。【知識・技能】</p>	<p>・学習中に身近な友だちや教師と適切な距離感で関わるができる。</p> <p>・時計を5分単位で読むことができる。</p>
児童C	<p>○課題に必要な文房具や課題プリントを自分で準備して、課題に取り組むことができる。【思考・判断・表現】</p> <p>○支援グッズを使いながら千円札、百円玉、十円玉、一円玉を使って指定された三千円未満の金額を出すことができる。【知識・技能】</p>	<p>・個別学習の時に必要な道具を文房具ボックスから取って課題に取り組むことができる。</p> <p>・千円札、百円玉、十円玉、一円玉を使ってしてされた三千円未満の金額を出すことができる。</p>

(2) 学習の展開

学習活動(全体)	○つきたい力 ★教師の支援	◆評価
1 あいさつをする。	★全員が「気をつけ」をしたことを確認してからあいさつをするように促す。	
2 学級全体で学習のめあての確認を行う。	★児童ひとりひとりのめあてが分かるように個別に「めあて達成シート」を用意する。	
3 店員(児童A)、客(児童B、C)に役割分担をして、買い物学習に取り組む。	<p>★教師が、買い物の仕方の手本をロールプレイで示すとともに、接客、買い物の手順を提示する。</p> <p>○A品物カードと品物のマッチングをすることができる。</p> <p>○B店員役の友だちに適切な距離感と言葉遣いで品物カードを出すことができる。</p> <p>○C複数の金種を使って、2千円未満の金額を出すことができる。</p>	<p>◆A品物カードと品物の1対1のマッチングをすることができるか。【知識・技能】</p> <p>◆B店員役の友だちに適切な距離感と言葉遣いで接することができたか。【思考・判断・表現】</p> <p>◆C複数の金種を使って、2千円未満の金額を出すことができたか。【知識・技能】</p>
4 個別の課題に取り組む。	<p>○めあてを達成することを目指して学習に取り組むことができる。</p> <p>★一つの課題が終了するごとに、報告の機会を持つ。「めあて達成シート」で、本時の学習のめあてが達成できているか確認</p>	◆それぞれの花丸シートを理解して花丸をつけたり○○けんをもらったりする事ができたか。【主体的

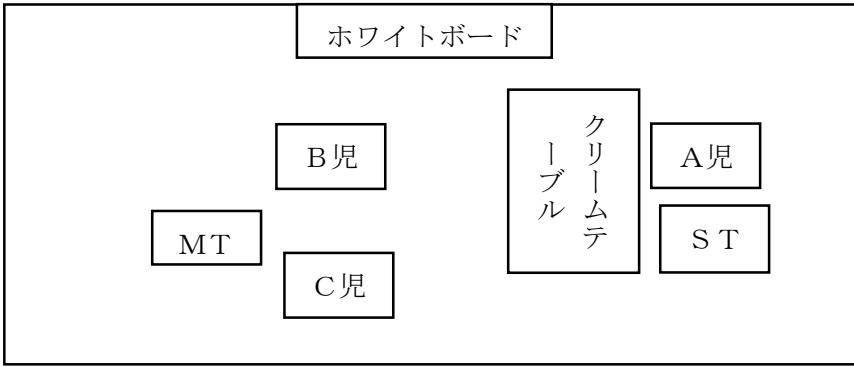
<p>5 本時の学習を振り返り、めあてを達成したか確認する。</p> <p>6 あいさつをする。</p>	<p>し、できている時はシートに花丸カードを貼るように促す。</p> <p>○A教師の支援を受けて課題の順番を自分で決め、課題を3つやり遂げることができる。</p> <p>★A3つ課題を終えたとお楽しみの活動ができるようにする。</p> <p>○B困ったときや課題の直しがあるときに教師に適切な距離感で支援を依頼することができる。</p> <p>★B相手との適切な距離感が理解できるように、片手の距離のイラスト入りのカードを机上に用意する。カードを参考にして質問や依頼ができたなら称賛する。</p> <p>○C課題に必要なものを自分で準備して、課題に取り組むことができる。</p> <p>★C文房具や道具の場所が分かるように、棚にイラストや言葉入りの表示をしておく。</p> <p>○A教師と一緒に具体物を指しながら2までの数を数えることができる。</p> <p>★A児童の興味のある具体物を用意する。教師と一緒に取り組み、具体物と数字のマッチングをしながら「いち、に」と声に出すように促す。</p> <p>○B指定された15分おきの時間に時計を合わせるすることができる。</p> <p>★B短針と長針の違いが分かるように色を変える。</p> <p>○C千円札、百円玉、十円玉、一円玉を使って指定された三千円未満の金額を出すことができる。</p> <p>★C金種ごとに必要な硬貨の個数が分かるようにシートを準備する。</p> <p>★めあて達成に向けて取り組んでいる様子を撮影して提示することで、頑張ったポイントを振り返る。</p> <p>★全員が「気をつけ」をしたことを確認してからあいさつをするように促す。</p>	<p>に学習に取り組む態度】</p> <p>◆課題を3つやりとげることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>◆教師に適切な距離感で依頼や質問をすることができたか。 【思考・判断・表現】</p> <p>◆課題に必要なものを自分で準備して、課題に取り組むことができたか。【思考・判断・表現】</p> <p>◆教師と一緒に具体物を指しながら2までの数を数えることができたか。【知識・技能】</p> <p>◆指定された15分おきの時間に時計を合わせることができたか。【知識・技能】</p> <p>◆千円札、百円玉、十円玉、一円玉を使って三千円未満の金額を出すことができたか。【知識・技能】</p>
--	---	---

(3) 準備

- ・まなびタイムがんばったねシート
- ・各自のめあて達成シート
- ・iPad
- ・果物の模型
- ・果物の模型の写真
- ・財布
- ・お金
- ・各自個別課題

(4) 場の設定

・ 集団学習



・ 個別学習

